

令和7年度入学者選抜について

1 本校の期待する生徒の姿

- 自己の生き方や進路についての考えを深め、その上で主体的に科目を選択し、個性や能力を伸ばすという本校の総合学科としての特色に魅力を感じる生徒
- 「自立心や主体性を養い、自己責任能力を育てる」、「感性を磨き、創造力・思考力・表現力を育てる」、「コミュニケーション能力を高め、共に生きる姿勢を育てる」という本校の教育目標に共鳴する生徒

- | |
|---|
| 1 自主性・積極性・協調性に富み、学習活動や特別活動を通じて、自らの個性や能力の伸長に強い意欲をもっていること |
| 2 学習成績が良好で、いずれかの教科で優れた成果を上げ、得意な教科・科目の探究に強い意欲をもっていること |
| 3 入学後の本校の教育活動に深く関連する活動実績や各種検定資格または同等の能力を有していること |

※ 特に推薦に基づく選抜においては、上記1から3のいずれかに該当する生徒が望ましい。

※ 「文化・スポーツ等特別推薦」においては、募集する各部活動に入学後も継続的に取り組み、学業と両立させる努力を怠らない生徒が望ましい。

2 入学者選抜実施方法

(1) 募集人員（具体的な人数は10月下旬に発表）

推薦に基づく選抜	募集人員の30%（文化・スポーツ等特別推薦枠を含む）
学力検査に基づく選抜	募集人員の70%

(2) 選抜方法について

① 推薦に基づく選抜

【一般推薦】

(1) 配点と満点

調査書点	面接点	作文点	面接について
720	480	240	3分程度のパーソナルプレゼンテーション及び個人面接

(2) 各検査の評価の観点

検査内容	評 価 の 観 点
個人面接	■ 本校の教育目標への理解（「本校の期待する生徒の姿」に対する理解及び総合学科に対する理解） ■ 思考力（論理的に考える力） ■ 表現力（これまでの経緯と高校生活に対する意欲などを表現する力） ※ パーソナルプレゼンテーションについては「個人面接の評価の観点」に準ずるものとする。
作 文	■ 思考力（論理的に考える力） ■ 表現力（自分の考えを相手に伝える力） ■ 判断力（出題の意図を理解する力）

【文化・スポーツ等特別推薦】

(1) 配点と満点

調査書点	面接点	実技検査	面接について
6 3 0	2 4 0	2 5 0	個人面接

(2) 各種目と基準について

（各種目の基準すべてにあてはまること）

種目	人数	文化・スポーツ等特別推薦の基準
剣 道	男女・3	○剣道部の活動を3年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○剣道二段と同等の優秀な技術をもつ者 ○都大会出場相当の実力がある者
サッカー	女・3	○サッカー部の活動を3年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○サッカーの技術・能力に優れ、中学校でサッカー部またはクラブチームに所属し活躍した者
吹 奏 楽	男女・2	○吹奏楽部の活動を3年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○中学校で2年以上吹奏楽部に所属し、楽器演奏の技術に優れ、かつ部内のリーダーとして意欲的に活動した者
美術工芸	男女・2	○美術工芸部の活動をコンクール入賞を目指し3年間継続するとともに、本校の学業と両立することのできる者 ○本校の系列化した美術系科目を履修し主要美術大学を進路希望とする者 ○部のリーダーとして意欲的に活動する意思のある者

(3) 実技検査の内容

剣道	剣道場
検査内容	1 素振り 2 空間打突 3 応用（打ち込み台等への打ち込み、対人稽古）
持参する物	・剣道着、袴（はかま） ・竹刀 ・剣道具一式 ・フェイスシールド

サッカー	グラウンド（雨天時：体育館）
検査内容	1 <インステップキック・インフロントキックによるロングキックパス>（30m程度） 2 <ヘディング> 10～20m程度離れた距離からキック又はスローしたボールをヘディングする。ゴールキーパーはハイボールキャッチを行う。 3 <ボールコントロール①> リフティングドリブル。ゴールキーパーはキーパーとしての基礎技術（正面キャッチ・セービング） 4 <ボールコントロール②> キック又はスローされたボールを、胸・もも・足のインサイド等でコントロールする。 5 <ドリブル> 置かれたコーンの間をジグザグドリブルをする。
持参する物	・サッカーができる服装 （かなり冷えることが予想される。ベンチコート等の防寒着を持参すると良い。） ・すね当て ・運動靴（屋外用）（雨天時は体育館シューズ）

吹奏楽	音楽室
検査内容	○管楽器 1 スケール 調性：F-dur、B-dur、Es-dur、As-dur、C-dur のうちから二つを当日指定する。 四分音符＝120程度のテンポで、1オクターブ以上。 2 任意の自由曲（伴奏なし、3分程度） ○打楽器 1 基礎演奏 スネアドラム。シングル・ストロークで四分音符＝120程度のテンポで、四分音符・八分音符・十六分音符・三連符およびロールを演奏する。 2 任意の自由曲（伴奏なし・3分程度） スネアドラム・鍵盤楽器・ティンパニより1つを選択する。
持参する物	・演奏する楽器（打楽器、コントラバス以外は貸出不可。貸出楽器を希望する場合は出願時に申し出ること。） ・自由曲の楽譜（ <u>出願時に提出</u> する。当日は演奏の際に必要な場合は持参する。）

美術工芸	美術室
検査内容	○鉛筆デッサン 自分の手と与えられたモチーフを関連を持たせてポーズを決め、90分で描写する。 モチーフは当日指定する。モチーフの特長に興味を持ち、自由にポーズする。 構成力・描写力・表現力の3観点から素描の技量を判断する。
持参する物	鉛筆（H～4B）、練消し、カッターナイフは学校側で用意、中学生で作成した自己作品（3点以内）

② 学力検査に基づく選抜 配点と満点

* 都立高校共通問題で実施

学力検査	調査書の評定の取り扱い		学力検査	調査書	ESAT-J
教科	国・数・英・社・理	その他の科目			
国・数・英・社・理	1倍	2倍	700	300	20

晴海総合高校の入学者選抜に関するよくある質問

Q 1 過去の入試倍率はどれくらいですか

A 1 過去3年間の入試データは下記のとおりです。

	年 度	募集人数(A)	応募者数(B)	受検者数	合格者数	倍率(B/A)
推 薦	6 年度	8 4	2 5 8	2 5 8	8 4	3 . 0 7
	5 年度	8 4	2 2 7	2 2 7	8 4	2 . 7 0
	4 年度	8 4	2 1 2	1 9 3	8 4	2 . 5 2
第一次募集	6 年度	1 9 2	4 1 2	3 9 2	1 9 4	2 . 1 5
	5 年度	1 9 2	3 5 1	3 3 9	1 9 5	1 . 8 3
	4 年度	1 9 2	3 3 9	3 3 1	1 9 5	1 . 7 7

(第一次募集の募集人数が7割ないのは、転勤枠などの別枠が4名分あるためです)

Q 2 【推薦】推薦入試のために、どんな準備をすればよいですか。

A 2 まずは中学校での勉強や部活動・委員会活動などにしっかり取り組んでください。

そして、作文・個人面接のために、自分の意見や自分自身を表現する力を身につけてください。

Q 3 【推薦】一般推薦と、文化・スポーツ等特別推薦は両方受検することができますか。

A 3 可能です。

Q 4 【推薦】過去の作文の問題が知りたいです

A 4 過去3年間の作文テーマ（一般推薦）は次の通りです。

令和6年度	令和5年度	令和4年度
あなたが得意な教科・科目を探究するためにこれまで行ってきた主体的な取り組みを具体的に述べなさい。また、本校入学後、得意な教科・科目の探究を継続するために、本校の授業や制度、施設設備、取り組みなどをどのように活用していきたいか、560字以上600字以内で具体的に述べなさい。	本校では、自己の生き方や在り方について考えを深め、主体的に進路選択を行うことのできる生徒を求めています。思い描く将来の自分に近づくために、あなたが中学校で取り組んできたことと、さらに高校でどのような学校生活を送りたいと考えるか、それぞれ具体的な例を挙げて、560字以上600字以内で述べなさい。	あなたが自ら努力して目標を達成した経験と、その経験を高校生活でどのように活かしていくか、それぞれ具体的な例を挙げて560字以上600字以内で述べなさい。

Q 5 【推薦】作文試験についての詳細と、対策方法を教えてください。

A 5 時間は50分、字数は600字程度です。

具体例をふまえて自分の意見を書くには、構想メモを作り、構成や表記に注意して文章を書く練習を積むことが大切です。また、漢字の間違え等がないよう本番までにしっかりと練習をして下さい。

Q 6 【推薦】個人面接はどのように行われますか。

A 6 受検者1名に対して、面接官複数の形で行います。

Q 7 【推薦】パーソナルプレゼンテーションとはどのようなものですか。

A 7 パーソナルプレゼンテーションとは、自己表現のことです。発表を通して、自分の個性や能力を表現するものです。面接官に伝わるよう表現してください。

与えられた3分間の時間を十分に使って時間内でアピールすることも採点の対象となります。

Q 8 【推薦】パーソナルプレゼンテーションは、具体的にどのようなことをすればよいのでしょうか。

A 8 基本的に何をするかは自由ですが、例として次のようなことが考えられます。

(1) 教科の学習活動に関すること

例 興味・関心がある教科の学習活動の具体的な成果や、芸術や体育などの分野での特技を発表することを通して自己表現を行う。

(2) 特別活動等に関すること

例 部活動や委員会活動、生徒会活動などで得た具体的な成果を発表することを通して自己表現を行う。

(3) その他の活動に関すること

例 ボランティア活動など、校外での活動体験の発表を通して自己表現を行う。

Q 9 【推薦】パーソナルプレゼンテーションで気をつけることはありますか。

A 9 次のような発表にならないよう注意して下さい。

(1) 得意な楽器を演奏するだけ

パーソナルプレゼンテーションはいわゆる一芸入試のように技術が上手か下手かを評価しているわけではありません。その演奏にこめられたことを自分の言葉でも表現しましょう。

(2) 用意してきた原稿を読むだけ

これでは自己表現とは言えません。内容をしっかり頭に入れて面接官に伝わるようにしましょう。

Q10 【推薦】パーソナルプレゼンテーションで物を持ち込んでもいいですか。

A10 通信機能を備えた電子機器は使用できません。(通信機能を備えているかどうか見分けがつかない機器も使用できません。) それ以外は、基本的には何を持ち込んでも構いませんが、プレゼンテーションの

時間は3分となります。準備に時間がかからないように工夫しましょう。なお、高校から受験生の皆さんに物を貸し出すことはできません。（コンセントの使用もできません）

Q11 入学者選抜の具体的な日程を教えてください。

A11 東京都教育委員会のホームページ（<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/>）にも記載されておりますので、併せてご確認ください。

選抜の種類		入学願書受付日	検査実施日	合格発表日
推薦に基づく選抜		インターネット出願 入力期間：R6. 12. 20 ～ R7. 1. 16 17:00 ＊吹奏楽部特推出願者は自由 曲の楽譜を郵送	一般推薦 1月26日（日） 特別推薦 1月27日（月）	1月31日（金）
学力検査に 基づく選抜	第一次募集	インターネット出願 入力期間：R6. 12. 20 ～R7. 2. 5 17:00	2月21日（金）	3月3日（月）
	第二次募集	窓口受付 3月6日（木）9:00-15:00	3月11日（火）	3月14日（金）

※ 第二次募集と同日程でインフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査を実施。

Q12 インターネット出願について教えてください。

A12 本校では、令和7年度入試の推薦に基づく選抜、学力検査に基づく選抜（第一次募集）において、インターネットによる出願受付を行います。詳細は東京都教育委員会ホームページや中学校の進路担当または担任の先生に確認してください。なお、合格発表も個別に合否がわかるシステムになっています。（合格通知書の交付・入学手続きについては来校しての対応となります）。

Q13 ESAT-J(中学校英語スピーキングテスト)の結果は入試でどのように活用されますか？

A13 「学力検査に基づく選抜の第一次募集」において活用します。「学力検査の得点と調査書点の合計」に、ESAT-Jの結果を加えて総合得点とします。調査書に記載される予定のESAT-JのA～Fの評価を、全都立高校共通の基準に従い0点～20点に点数化します。詳しくは東京都教育委員会ホームページの「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)のお知らせ～都立高校入試への活用について～」をご覧ください。

Q14 入試当日に携帯電話などを持参してもいいですか。

A14 携帯電話・スマートフォン・時計機能以外の機能を備えた時計（腕時計型端末など）・通信機能を備えた端末の持ち込みは原則できません。持ち込んだ場合は高校で預かります。（ただし、タブレットやノートパソコンは預かる場所がないため、持ち込まないでください。）